

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三宝下水処理場防災センター	階数	地上3F,地下1F
建設地	堺市堺区松屋大和川通3丁140-1他	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	0人
気候区分		年間使用時間	2,200時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 0.0	評価の実施日	2015年2月28日
敷地面積	63,921 m <sup>2</sup>	作成者	芦沢設計 芦沢清隆
建築面積	749 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,279 m <sup>2</sup>	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.5</b> ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

**2-4 中項目の評価(バーチャート)**

**Q 環境品質** **Qのスコア = 3.3**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3のスコア = 3.1</p>

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.4**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		その他
<p><b>総合</b></p> <p>本計画は下水処理場内における事務室としての建物用途であるが、災害時には救助活動の為の執務スペースとしても利用する事を見込んでいるため外壁側は強化ガラスを採用している事に加え、躯体形状・構造計画共にシンプルで無駄の少ない計画を行う事で、高強・メンテナンス性を高めて環境配慮に貢献すると共に、将来の改修計画も視野に入れて可変性のある構造を持たせる事で持続性の高い建物となる計画を行った。</p>		0
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>断熱材・熱線吸収ガラス・岩綿吸音板・熱交換空調計画・24時間換気・LED照明等を採用し、室内環境の向上に配慮した。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>機能性・維持管理・更新性が容易となる平面計画、構造計画を行う事でサービス性能の向上に配慮した。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>可能な限り緑化に努めると共に、同敷地内の施設群とデザインを統一する事で周辺環境への配慮を行った。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>建物外皮には熱線吸収ガラス・断熱材を計画し、空調負荷を低減させて省エネルギー化させる配慮を行った。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>単純な建物・室形状とすることで使用材料を低減させると共に代替品の選択を容易にする事で、資源使用の低減に配慮を行った。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>敷地内の緑化に努めると共に既製杭を採用する事で工事中の振動騒音への配慮を行った。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に 出される



1. 建物概要	建物名称	三宝下水処理場防災センター	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区松屋大和川通3丁140-1他1 筆	1.5	A
	主用途/延床面積	事務所 / 2,279.04 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.6	4
省エネ対策	評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体 3.0 住居・宿泊部分 0.0	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.1	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	3.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	4.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	5.0	

## 4. その他

技術の名称	考慮事項
熱線吸収強化ガラスの採用	省エネ効果と災害時の必要強度に配慮した

## 特に配慮した事項

躯体形状・構造計画共にシンプルで無駄の少ない計画を行う事で、高強度・メンテナンス性を高めて環境配慮に貢献すると共に、将来の改修計画も視野に入れて可変性のある構造を持たせる事で持続性の高い建物となる計画を行った。